

株式会社サンエー

(証券コード 2659)

2019年2月期 決算説明資料

会社概要



- ・ 商 号 株式会社サンエー
- ・ 創 業 1950年1月5日
- ・ 会 社 設 立 1970年5月28日
- ・ 資 本 金 37億円
- ・ 代 表 者 代表取締役会長 折田 譲治
代表取締役社長 上地 哲誠
- ・ 本 社 所 在 地 〒901-2733 沖縄県宜野湾市大山7丁目2番10号
- ・ 事 業 内 容 食料品と衣料品ならびに家電・日用雑貨等の住居関連用品の小売業
- ・ 従 業 員 数 1,588人
※当社から当社グループへの出向者を含む
- ・ 連 結 子 会 社 (株)ローソン沖縄、(株)サンエー浦添西海岸開発、(株)サンエーパルコ

当社の前身は、創業者故折田喜作が1950年1月、沖縄県宮古島市（旧平良市）に創業した個人経営の雑貨店「オリタ商店」であります。

1970年5月	沖縄県那覇市安里に株式会社サンエーを設立（資本金50千ドル）
1970年7月	沖縄県那覇市安里に1号店「那覇店」を開店
1972年5月	本土復帰に伴う通貨の切換えにより、資本金は24,400千円となる
1977年6月	食品部門を開設
1982年9月	サンエー運輸株式会社（非連結子会社）を設立
1984年11月	大山流通センターを開設、DCを稼働
1985年5月	沖縄県宜野湾市大山に本社を移転
1985年6月	生鮮加工センター（現・食品加工センター）を開設
1985年11月	沖縄県浦添市に郊外型SC「マチナトショッピングセンター」（現「マチナトシティ」）を開店
1989年9月	ニチリウ（日本流通産業株式会社）グループに加盟
1992年9月	食品加工センター内に食品工場を稼働
1995年4月	株式会社ダイイチ（現「株式会社エディオン」）とFC契約を締結し、家電販売を開始
1998年10月	「サンエーカード」（ポイントカード）を導入
2000年9月	日本証券業協会に店頭登録
2002年1月	株式会社ジョイフルとFC契約を締結し、レストラン「ジョイフル」1号店（FC）を開店
2002年10月	「那覇メインプレイス」（売場面積32,312㎡）を開店
2005年2月	東京証券取引所市場第二部に上場
2005年7月	沖縄県宜野湾市にNSC1号店「大山シティ」を開店
2006年2月	東京証券取引所市場第一部に上場
2006年7月	ISO22000認証取得（食品加工センター）
2006年10月	ドラッグストア「マツモトキヨシ」1号店（FC）を開店
2009年12月	株式会社ローソンとの合併会社「株式会社ローソン沖縄」（連結子会社）が運営を開始
2012年7月	「東急ハンズ」1号店（FC）を開店
2013年8月	株式会社良品計画と「無印良品」ライセンス・ストア基本契約を締結し、同年10月に1号店を開店
2014年10月	株式会社フェニックスとサブライセンス契約を締結し、「ビザハット Express（エクスプレス）」1号店を開店
2015年11月	「株式会社サンエー浦添西海岸開発」（連結子会社）を設立
2016年12月	株式会社バルコとの合併会社「株式会社サンエーバルコ」（連結子会社）を設立

店舗の状況（2019年2月末現在）



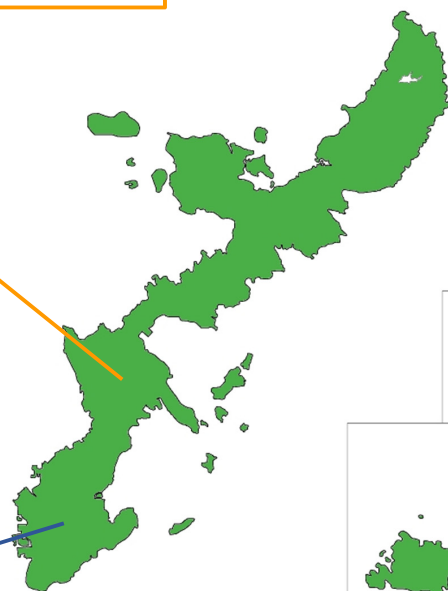
店舗数 合計 85店舗（単体）

沖縄本島

総合店舗	：	20
衣料・住関連店舗	：	1
食品店舗	：	43
外食店舗	：	11
ドラッグストア	：	2
ホテル	：	1

沖縄本島

コンビニエンスストア (CVS)	
直営店	4
FC店	227



宮古島

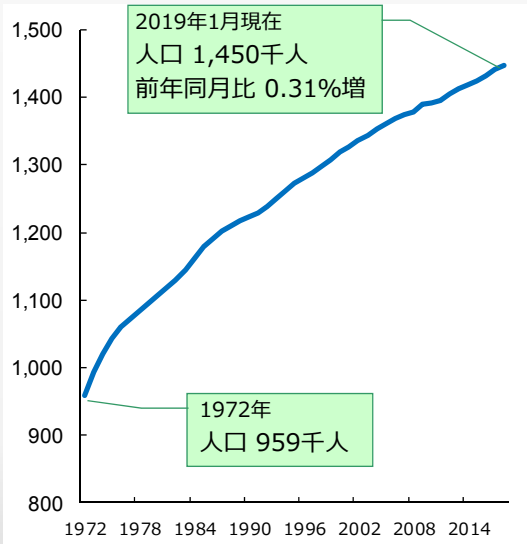
総合店舗	：	1
食品店舗	：	2
外食店舗	：	2

石垣島

総合店舗	：	1
外食店舗	：	1

人口は継続増加、2030年まで増加予想 (※国立社会保障・人口問題研究所による推計)

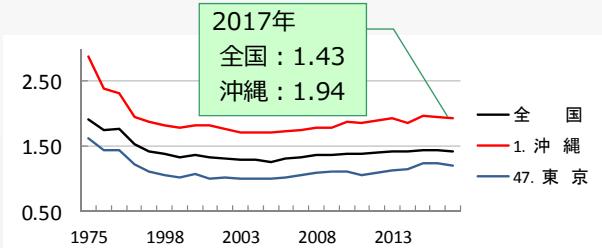
人口推移



(出所：沖縄県企画部統計課 「沖縄県推計人口」)

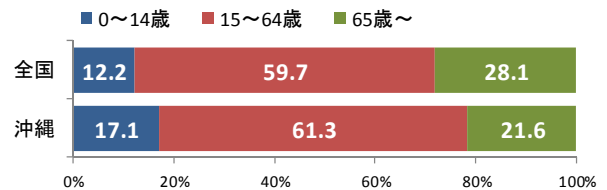
合計特殊出生率 (1975年～2017年)

合計特殊出生率：1人の女性が一生に産む子供の数の平均



(出所：厚生労働省「人口動態調査」)

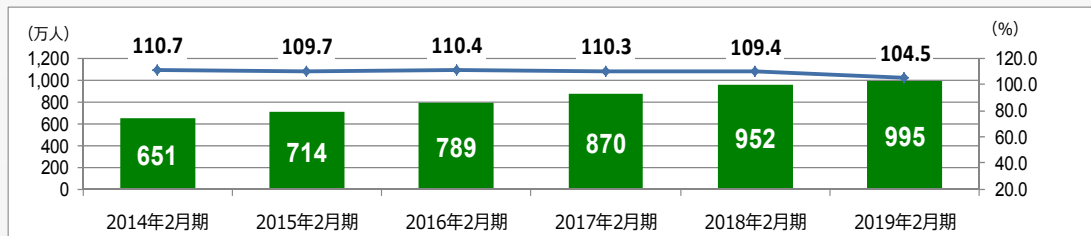
人口構成 (2018年)



(出所：総務省統計局「都道府県、年齢階級別人口」)

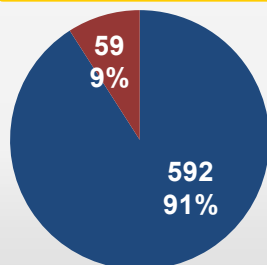
入域観光客は国内外とも引き続き過去最高を更新

入域観光客数の年別推移 (2014年2月期～2019年2月期)

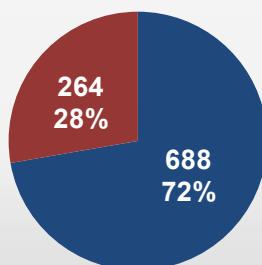


入域観光客数構成比

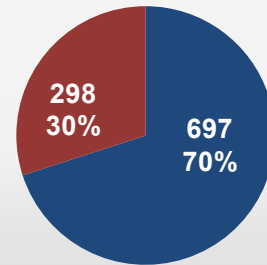
■ 国内 ■ 海外



2014年2月期



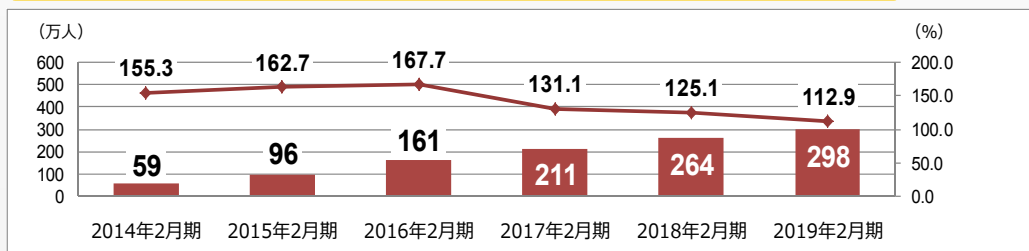
2018年2月期



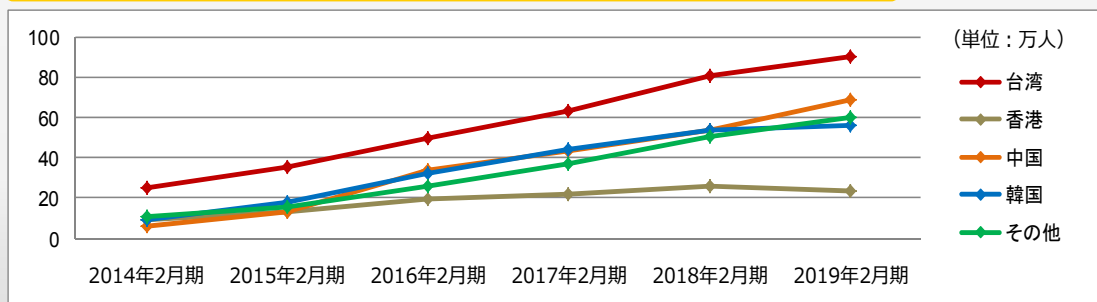
2019年2月期

外国人観光客も引き続き増加

入域外国人観光客数の推移（2014年2月期～2019年2月期）



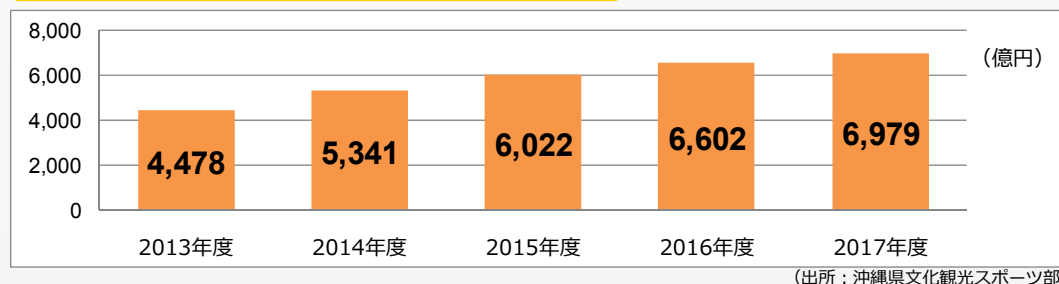
国別入域外国人観光客数の推移（2014年2月期～2019年2月期）



(出所：沖縄県文化観光スポーツ部)

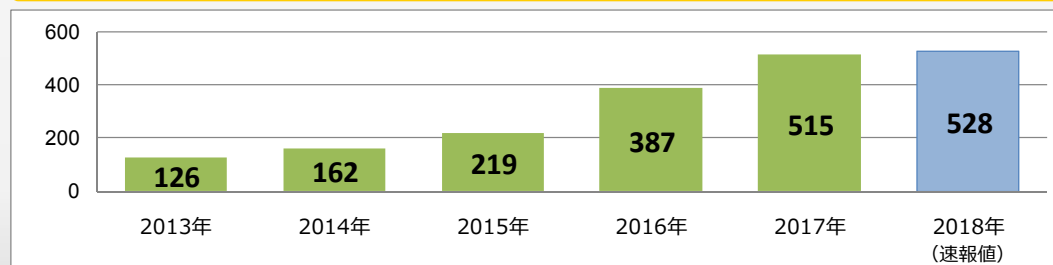
沖縄県の経済環境

観光収入の推移（2013年度～2017年度）



(出所：沖縄県文化観光スポーツ部)

沖縄県（那覇港、石垣港等）への外国クルーズ船寄港回数（2013年～2018年）



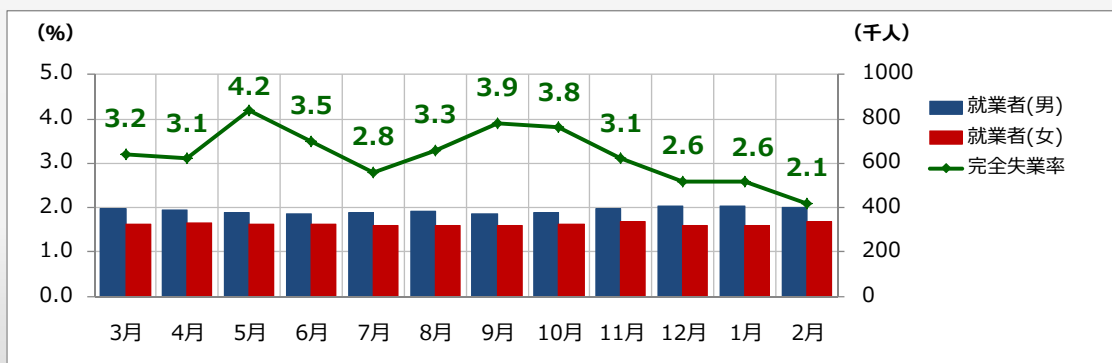
那覇港243回 (+19回)、石垣港107回 (-25回)、平良港143回 (+13回) (2018年)

国土交通省及び沖縄総合事務局資料等により作成

雇用環境も引き続き良好

- 完全失業率 : 2.1% (前年同月 : 4.2%)
- 有効求人倍率 : 1.21倍 (前年同月 : 1.14倍)
- 就業者数 : 735千人 (前年同月 : 703千人) ※2019年2月現在

沖縄県の就業者数および完全失業率（原数値）の推移（2018年3月～2019年2月）



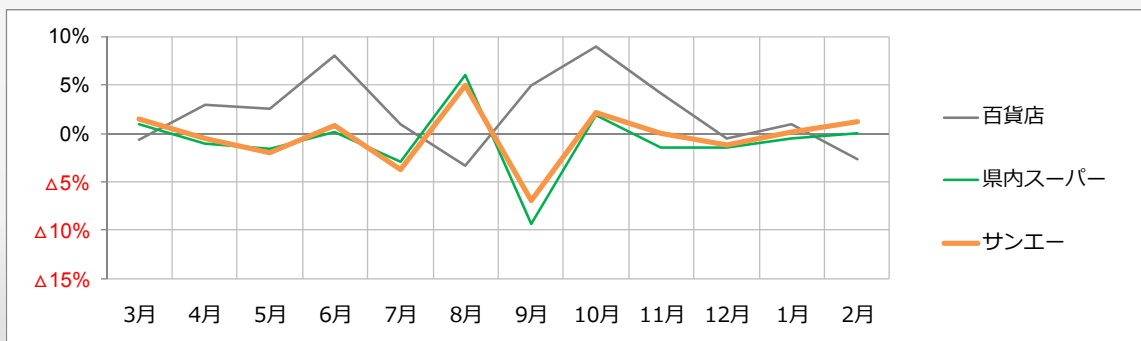
(出所：沖縄県企画部統計課「労働力調査」、沖縄労働局)

沖縄県の経済環境

県内企業の既存店売上高は横ばい

台風による影響（7月：台風7、8、10号、9月：台風24号、10月：台風25号）
 旧暦行事（お盆）のズレ（今年：8月23日～8月25日、昨年：9月3日～9月5日）
 全店ベース（スーパー）は7月と9月を除き、すべての月で前年を上回った

沖縄県内企業の売上高増減率推移（2018年3月～2019年2月）



(出所：(株)りゅうぎん総合研究所 「企業景気動向」ヒアリング調査、日本銀行那覇支店 「県内金融経済概況」ヒアリング調査)

新規出店（2店舗）

サンエー喜友名店

所在地	宜野湾市喜友名
オープン日	2018年5月16日
業態	食料品、住居関連用品、 外食、テナント
店舗面積	1,830㎡
駐車台数	149台
店舗形態	土地：賃借、一部自社所有 建物：自社所有



SAN-A.CO.,LTD

サンエー板良敷店

所在地	島尻郡与那原町字板良敷
オープン日	2018年5月31日
業態	食料品、住居関連用品、 外食、テナント
店舗面積	2,009㎡
駐車台数	102台
店舗形態	土地：自社所有、一部賃借 建物：自社所有



11

2019年2月期決算

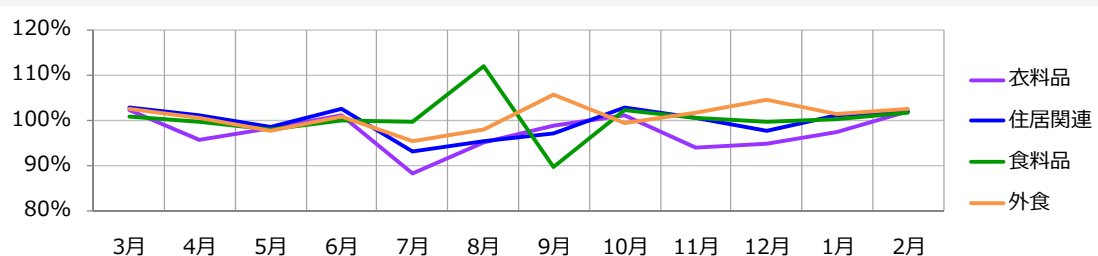
部門別売上高

（単位：百万円・％）

部門の名称		金額	構成比	総合 前年比	既存店 前年比
小売部門	衣料品	14,279	8.0	96.6	97.3
	住居関連用品	51,323	28.9	100.9	99.4
	食料品	103,155	58.0	103.0	100.1
	外食	8,570	4.8	103.4	100.7
	小計	177,328	99.7	101.9	99.6
CVS		609	0.3	143.4	96.8
売上高合計		177,938	100.0	102.0	99.6

※CVSは直営4店舗の売上

部門別売上高前年比の推移（既存店）



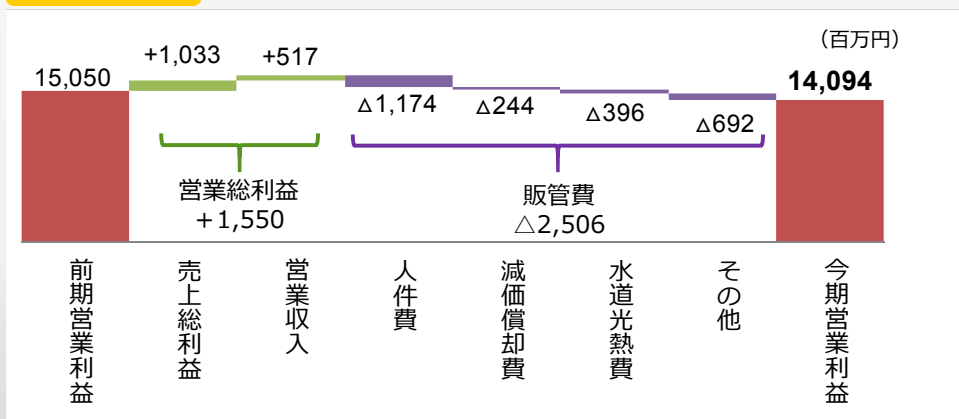
2019年2月期決算



営業利益：14,094百万円（前期比955百万円減、93.6%）

- ・売上総利益：売上前年比102.0%、粗利率31.3%（前年31.3%）
（新店2店舗で売上伸長、既存店売上は99.6% 台風休業及び暖冬の影響等）
- ・人件費：今後の出店に向けた人員強化
- ・水道光熱費：電気・ガス料金の増加
- ・その他：出店費用等

営業利益増減



SAN-A.CO.,LTD

13

2019年2月期決算



前期・予算比較（連結）

(単位：百万円、%)

	2019年2月期						2018年2月期	
	実績				予算		実績	
	金額	売上比	前年比	達成率	金額	売上比	金額	売上比
営業収益	189,835	-	102.1	98.8	192,198	-	185,906	-
売上高	177,938	-	102.0	98.7	180,289	-	174,526	-
売上総利益	55,741	31.3	101.9	98.2	56,748	31.5	54,708	31.3
営業収入	11,897	6.7	104.5	99.9	11,909	6.6	11,379	6.5
販管費	53,544	30.1	104.9	98.7	54,276	30.1	51,038	29.2
営業利益	14,094	7.9	93.6	98.0	14,380	8.0	15,050	8.6
経常利益	14,413	8.1	93.4	98.0	14,710	8.2	15,438	8.8
当期純利益 ※	9,406	5.3	90.6	95.0	9,899	5.5	10,382	5.9

※ 親会社株主に帰属する当期純利益

連結子会社：(株)ローソン沖縄（コンビニエンスストア、以下「CVS」と表記）

売上高 609百万円（直営4店舗）
 営業収入 7,091百万円
 のれん償却額 163百万円

SAN-A.CO.,LTD

14

一致協力

サンエー浦添西海岸パルコシティが今夏オープンする。
サンエーの未来への布石だ。既存店が力の源だ。
サンエーの持つ人財力と総合力を最大限に活かす。
全社員が心を一つにし、力を合わせる事が大切だ。
一致協力して成功させる。

1. 企業理念の浸透と七大基本の実行
2. サンエー浦添西海岸パルコシティを成功させる
3. 人財力・仕組み力の向上
4. 商品力・店舗力の向上
5. 持続性ある企業体質づくり

出店計画（2020年2月期）



浦添西海岸PARCO CITY

建 物	延床面積224,122㎡、地上6階建
店舗面積	約60,000㎡
駐車台数	約4,000台
投 資 額	建物:約400億円、土地:約42億円
店 舗 数	250店舗（沖縄初出店94店舗）
開 業 日	2019年6月27日（予定）



店舗イメージパース（外観）



【半径15km圏内】

人口：約92万人、世帯数：約34万世帯

浦添西海岸PARCO CITY



2階中央吹抜（イメージ）



2階フードホール（イメージ）



1階共用通路（イメージ）

SAN-A.CO.,LTD

17

2020年2月期取り組み

人財力、仕組み力の向上

働き方改善、女性社員活躍推進

消費税増税対応、キャッシュレス化対応、情報システム活用

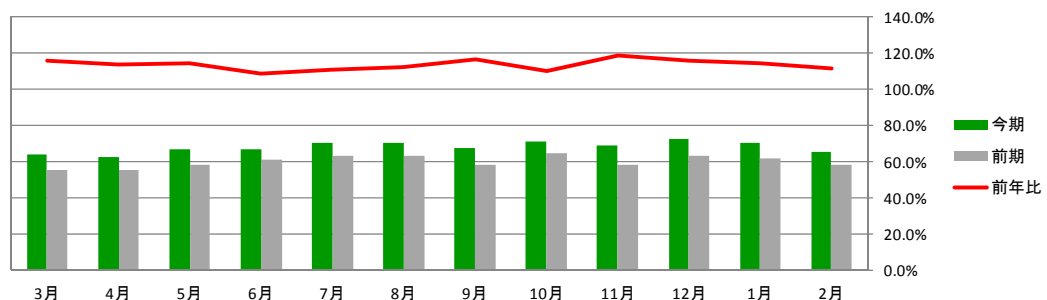
商品力、店舗力の向上

EDLP、ワンランクアップ、独自性商品の強化、県産品の強化

ローソン沖縄協業推進（ローソンセレクト強化、成城石井コーナー展開等）

ネットスーパーエリア拡大（那覇メインプレイス）

ローソンセレクト売上推移（サンエー・ローソン沖縄合計）



SAN-A.CO.,LTD

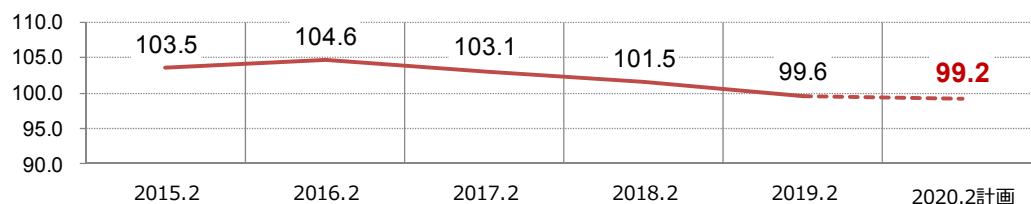
18

2020年2月期計画



既存店売上高前年比

	上期	下期	通期
計画	100.0	98.4	99.2



- ・ 沖縄県の経済環境は継続拡大の見込み
- ・ ジョイフル営業時間変更（24時間営業→24時閉店:2019年4月21日より）
- ・ 新規出店 1 店舗（浦添西海岸PARCO CITY：6月）

2020年2月期計画



営業利益予想：11,248百万円（2,846百万円減、79.8%）

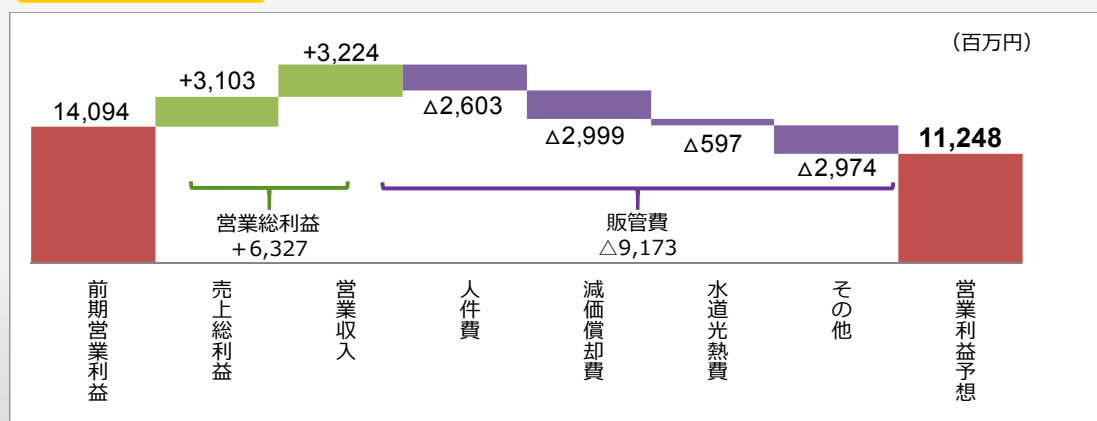
売上総利益：売上高105.1%、粗利率31.5%（前期31.3%）

人件費：新店舗及び今後の出店に向けた人員強化

水道光熱費：新店舗・既存店の電気料金増加見込み

その他：浦添西海岸PARCO CITY出店費用等

営業利益増減予想



2020年2月期計画



連結予想

(単位：百万円、%)

	2020年2月期			2019年2月期	
	金額	売上比	前年比	金額	売上比
営業収益	202,133	-	106.5	189,835	-
売上高	187,011	-	105.1	177,938	-
売上総利益	58,845	31.5	105.6	55,741	31.3
営業収入	15,121	8.1	127.1	11,897	6.7
販管費	62,718	33.5	117.1	53,544	30.1
営業利益	11,248	6.0	79.8	14,094	7.9
経常利益	11,613	6.2	80.6	14,413	8.1
当期純利益 ※1	7,304	3.9	77.7	9,406	5.3
EBITDA ※2	17,765	-	100.9	17,611	-

※1：親会社株主に帰属する当期純利益、※2：EBITDA＝営業利益＋減価償却費（定率法）

連結子会社：(株)ローソン沖縄（CVS）

売上高 801百万円（直営4店舗）
 営業収入 7,500百万円
 のれん償却費 122百万円

2020年2月期計画



連結予想（第2四半期累計）

(単位：百万円、%)

	2020年2月期2Q累計			2019年2月期2Q累計	
	金額	売上比	前年比	金額	売上比
営業収益	100,324	-	104.4	96,115	-
売上高	93,328	-	103.6	90,119	-
売上総利益	29,248	31.3	103.9	28,145	31.2
営業収入	6,995	7.5	116.7	5,995	6.7
販管費	30,698	32.9	114.7	26,771	29.7
営業利益	5,545	5.9	75.3	7,369	8.2
経常利益	5,739	6.1	75.9	7,561	8.4
四半期純利益 ※	3,428	3.7	71.1	4,821	5.3

※ 親会社株主に帰属する四半期純利益

連結子会社：(株)ローソン沖縄（CVS）

売上高 388百万円（直営4店舗）
 営業収入 3,789百万円
 のれん償却費 81百万円

(単位：百万円、%)

	2019年2月期	2018年2月期	前期比
売上高	609	424	143.4
営業収入	7,091	6,665	106.4
販管費	5,418	5,100	106.2
営業利益	1,824	1,658	110.0
経常利益	1,835	1,654	111.0
当期純利益	1,111	1,066	104.2

店舗数推移

	2013.2	2014.2	2015.2	2016.2	2017.2	2018.2	2019.2
店舗数	154	165	174	191	210	224	231
出店	8	13	11	20	20	16	12
閉店	1	2	2	3	1	2	5

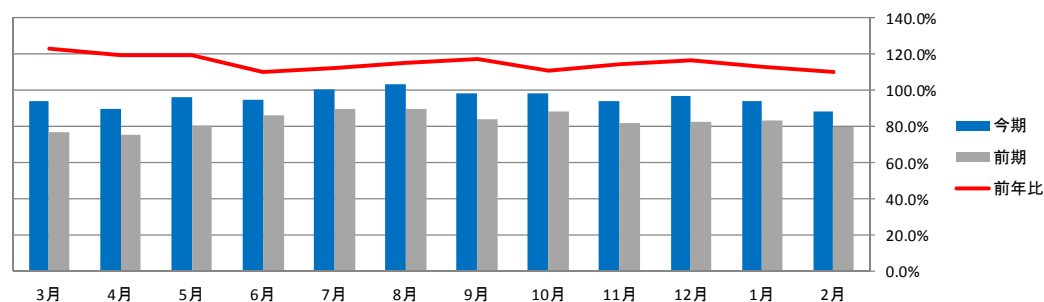
ローソンセレクト強化

成城石井コーナー沖縄県内全店舗展開

サンエーとの共同販促・相互送客

改装等による既存店強化

ローソンセレクト売上推移（ローソン沖縄）



沖縄県企業売上ランキング（2017年度）

（単位：百万円、％）

	上場	会社名	売上高	業種	前年比
1	○	沖縄電力(株)	188,075	電気	9.1
2	○	(株)サンエー	178,834	スーパー	2.9
3		医療法人沖縄徳洲会	120,731	病院	3.4
4		イオン琉球(株)	83,587	スーパー	3.5
5		(株)沖縄ファミリーマート	74,858	コンビニエンスストア	5.2
6		金秀商事(株)	65,590	スーパー	0.9
7	○	沖縄セルラー電話(株)	62,547	携帯電話サービス	3.3
8		(株)りゅうせき	59,810	石油類卸売	14.6

（出所：東京商工リサーチ沖縄支店調べ〔銀行等金融機関、損保は除く〕）

お問い合わせ先



≡ MENU

今日のチラシ

トピックス

14・15・16日 ハッピータイム 2倍

14・15・16日 60歳以上のお客様限定！「ハッピータイム」

4月・5月 豊後 日曜日はサンエー

KARIYUSHI WARE 2018

2018サンエーのやり終りのフェア 総売上金（世界観）「1000万円以上」、沖縄工場「1000万円以上」

2018サンエーのインスタグラム

ホームページ

<https://www.san-a.co.jp/>

IRサイト

<https://www.san-a.co.jp/ir/>

株主・投資家の皆様へ

新着情報

2018年4月 2018年4月

Summary of Consolidated Financial Results for the Year Ended February 28, 2018 (Based on Japanese GAAP)

2018年4月 2018年4月

投資家の方へ 投資家の方へ

2018年4月 2018年4月

剰余金の配当に関するお知らせ

2018年4月 2018年4月

平成30年2月期決算報告書（日本語）（PDF）

2018年4月 2018年4月

月次売上情報（平成30年2月確定）

一覧を見る

業績の推移

直近10年間の業績の推移をご覧いただけます。

株価の推移

直近10年間の株価の推移をご覧いただけます。

<お問い合わせ先>

株式会社サンエー 経営企画部

TEL：098(898)2237

FAX：098(897)2533

本資料は、2019年2月期の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

また、本資料は一部を除き2019年2月末現在のデータに基づいて作成しております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、安全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更させていただくことがあります。